

荒川白門会

(創刊号)

編集・発行 中央大学学員会東京荒川区支部事務局



設立総会後の
懇親会で
(H30.11.13)

大いに盛り上
がりました

庶民の街 荒川に白門会結成 東京荒川区支部長・鈴木貫太郎



荒川区は、江戸の昔から大川（今の隅田川）の流れに沿って、幕府が初めて本格的な橋・千住大橋をかけたその地であり「江戸の御府内」に属しております。歴史と伝統を持ち合わせた人情あふれる庶民の町です。地元の素盞雄（すさのお）神社境内には、松尾芭蕉が奥の細道出立の際に詠んだ句「行く春や 鳥啼魚の目は泪」の句碑が建てられ（文政3年）ています。

今一つご紹介したいのは、現在都内で唯一走っている路面電車・都電

荒川線です。旧来交通至便な街で、働きながら中央大学に通われた先輩方も大変多かったです。

しかし残念なことに、中央大学学会会の地域支部が存在しませんでした。このような状況の中、卒業生有志から「学会会の支部を！」、「白門荒川区支部を！」という声が、燎原の火のごとく広がり卒業生有志により結成に向けて行動してまいりました。

この志に賛同する卒業生が続々と集まり、幾たびか学会会本部に足を運び、設立準備の会合を経て、支部結成に至りました。



永年の念願がここに叶い、荒川区中央大学関係者一同感激しております。支部活動が正式にスタートいたしますが、伝統ある中央大学の卒業生という誇りを胸に、母校の発展と会員の相互交流拡大を目指してまいります。加えて、他の学会支部との交流、地域への貢献事業等を積極的に行い、支部員が楽しく活動できる交流の場として発展させてまいります。中央大学関係、学会関係の皆様よろしく願いたします。



平成30年度の活動

< 設立懇親会：平成30年7月1日：サンパール荒川 >
～ 設立後の荒川区支部の活動を盛り上げようと卒業生有志が参集。
初対面が多かったのも係わらず有意義な交流と親睦が図られました～



鈴木支部長挨拶



最後は肩を組んで惜別の歌



年代を超えた仲間達

< 設立総会、記念講演会、懇親会 >

平成30年11月13日：ホテルラングウッド

～ 記念すべき初めての総会の後、荒川白門会会員の松丸経済学部教授の講演、
懇親会では、同じく会員の桂やまと師匠による落語の披露がありました～



並木幹事長挨拶



松丸教授講演



桂やまと師匠



来年度以降も充実した支部活動を目指していきます

【役員名簿】

	役職	氏名	卒業年	学部
1	顧問	荻野 弘康	1959	商
2	顧問	長澤 伸好	1960	商
3	顧問	佐藤 明良	1961	理工
4	顧問	野入 納	1962	法
5	顧問	堀江 吉明	1965	商
6	顧問	松丸 和夫	1977	経
7	相談役	佐藤 安夫	1978	経
8	支部長	鈴木 貫太郎	1969	法
9	副支部長	赤石澤 健志	1968	経
10	副支部長・会計監事	片岡 正光	1973	商
11	副支部長	大貫 健次	1974	理工
12	副支部長	渡辺 敏行	1974	文
13	副支部長	矢吹 誠	1976	法
14	副支部長・会計	阿部 信行	1979	商
15	幹事長	並木 一元	1978	法
16	副幹事長	吉井 功	1977	経
17	副幹事長	掛川 良和	1980	商
18	副幹事長	濱島 明光	1982	法
19	副幹事長	越間 秀男	1987	文
20	副幹事長	本木 理恵子	1999	法
21	副幹事長	桂 やまと	1999	文
22	副幹事長・会計	赤池 照子	1993	商
23	副幹事長・事務局長	小原 実	1984	商
24	副幹事長・事務局次長	北川 孝行	1992	経
25	副幹事長・事務局	木村 信男	1990	理工
26	副幹事長・事務局	安藤 佑太	2004	経
27	幹事	前田 晃	1969	商
28	幹事	原田 和彦	1970	法
29	幹事	蓮本 猛	1971	法
30	幹事	渡辺 和利	1976	商
31	幹事	奥村 泰久	1976	法
32	幹事	今井 由和	1977	法
33	幹事	西村 繁夫	1978	法
34	幹事	平野 敬一郎	1979	法
35	幹事	佐野 公一	1981	法
36	幹事	大島 淳一	1981	理工
37	幹事	田中 照英	1982	経
38	幹事	仙波 正弘	1984	商
39	幹事	菊地 英治	1989	法
40	幹事	大山 俊哉	1990	法
41	幹事	小瀬 幸雄	1998	法
42	幹事	崔 光日	1998	法学研究
43	幹事	園田 悠子	1999	法
44	幹事	赤塚 直徳	1999	法
45	幹事	猪瀬 昇	1974	商
46	幹事	福田 晴通		